

時間割番号／Registration No.	K4501
授業科目名／Course Title	図画工作・美術科授業研究
授業科目名英語／Course Title	Studies in Art Education Pedagogy
担当教員名／Instructor	竹内 晋平
単位数／Credits	2
授業の方法／Type of class	演習
更新日／Date of renewal	2020/04/13
到達目標／Course Goals	文献講読および模擬授業を中心とした演習を通し、題材の提示や場の提供のみではなく「学びのある図画工作・美術科授業」を創造する能力を習得する。
授業の概要／Course Objectives	図画工作・美術科の授業を成立させるための条件について考察し、海外の教育思潮を踏まえた学習指導案の作成、模擬授業の実施を通して教育実践力を身につける。
資質・能力基準 ／standard of qualifications and abilities	教科内容探求力・教材開発力
授業計画（内容と方法） ／Class schedule	<p>第1回 オリエンテーション（履修や評価の方法、今後の準備物・課題等を説明）</p> <p>第2回 図画工作・美術科の授業とは</p> <p>第3回 海外文献の講読①</p> <p>第4回 海外文献の講読②</p> <p>第5回 海外文献の講読③</p> <p>第6回 図画工作・美術科学習における題材のあり方 ①</p> <p>第7回 図画工作・美術科学習における題材のあり方 ②</p> <p>第8回 学習指導案の作成に向けて</p> <p>第9回 学習指導案の作成と模擬授業の準備 ①</p> <p>第10回 学習指導案の作成と模擬授業の準備 ②</p> <p>第11回 模擬授業の実施 ①</p> <p>第12回 模擬授業の実施 ②</p> <p>第13回 模擬授業の実施 ③</p> <p>第14回 模擬授業の実施（予備日）</p> <p>第15回 まとめ（最終レポート作成に向けて）</p>
テキスト、参考図書、教材等 ／Textbooks	<p>参考図書・資料は随時、指示・紹介する。</p> <p>海外文献を講読するので、英和辞典が必要である（電子辞書も可）。</p>
評価方法／Evaluation	<p>①授業内発表：50% 小レポート（英訳等を含む）、模擬授業（第11・12・13回で全員実施）および学習指導案作成課題によって評価する。</p> <p>②レポート：30% 模擬授業に関する考察を内容のレポート（授業終了後に提出する。期日は授業内で連絡する）によって評価する。</p> <p>③授業への取り組み：20% 話し合い活動等への参加姿勢、自発的な学習（準備・後始末も含めて）への取り組み方等によって評価する。</p>

	<p>※良好な出席状況を前提として評価を行う（欠席が3回以下であることが単位認定の条件。遅刻・早退は1/2回の欠席として扱う）。</p>
<p>準備学習・時間等 ／Preparation Learning</p>	<p>【事前課題（休講期間中）】 竹内晋平研究室 WEB サイト (http://takeuchi-lab.net/) 内の「オンライン授業」にアクセスし、本授業科目の事前課題を確認しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「準備中」の場合は、後日アクセスしてください。 ・「なし」の場合は、現時点での事前課題はありません。休講期間が延長された場合に事前課題を設定する場合がありますので、随時確認するようにしてください。 ・課題の連絡や提出には学内メールを活用します。定期的に学内メールを確認しましょう。 <p>【一般的な準備学習・時間等】 海外文献を講読するため、基本的な英訳に習熟していることが望ましい。 (各週の準備学習時間：90分程度)</p>
<p>実務経験のある教員等による授業科目 ／Courses taught by teachers with practical experience</p>	<p>本授業は、以下の実務経験のある教員により、実務経験を生かして実施します。 担当教員／Teacher in charge</p>
<p>受講上の注意、メッセージ等 ／Caution, Message</p>	<p>「なぜ、図画工作・美術の授業は得手不得手に分かれてしまうのか」、という点を課題として授業を進めます。「授業として、学習としての図画工作・美術」とは何でしょうか。受講生の皆さんと一緒に考察を深めていきましょう。</p> <p>e-mail: shimpei@cc.nara-edu.ac.jp</p>